

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント  
ニュース



since 1972  
Japanese Society  
of Oral Implantology

第34号

2021年7月15日発行

# Implant News No.34

公益社団法人 日本口腔インプラント学会会報

発行人 宮崎 隆 編集 公益社団法人 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒108-0014 東京都港区芝4-3-5 ファースト岡田ビル8F

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP: <https://www.shika-implant.org/> Eメールアドレス: [jsoi@peace.ocn.ne.jp](mailto:jsoi@peace.ocn.ne.jp)

【本号のトピックス】

第51回学術大会迫る、令和2年度専修医合格者、  
臨床技術向上講習会報告、学術シンポジウム報告、研修施設紹介など

## 第51回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会開催の挨拶

大会長 津賀 一弘  
広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室 教授

新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言が延長されたなかではありますが(6月1日現在)、私たちは新しい時代のモデルケースとなるべく、本年10月22日、23日、24日に広島の地で対面型の学術大会を開催する予定で準備を進めております。「インプラント治療 これまでの50年、これからの50年—インプラントで支える未来の健康—」をテーマとして、広島国際会議場、広島市文化交流会館、JMSアステールプラザを有機的に結んで開催します。

プログラムでは、特別シンポジウム「口腔機能回復から全身の健康へ—4学会の連携と目指す方向性—」をはじめとして、「インプラント治療の症型分類」と「審美領域へのインプラント治療の成功基準」をテーマとした2つの特別講演、「基礎から学ぶインプラント周囲軟組織最新知見」「長期症例を通じた患者の一生を見つめるインプラント治療」「インプラント周囲炎の治療を考える—患者にとって最適な方法とは?—」「新型コロナウイルス感染症流行下の院内感染対策」「広範囲顎骨支持型装置について現在の知見を得る」「各種造成手術における既承認骨補填材を評価する」「医療デジタルデータおよびインプラントシミュレーションの正しい取り扱いとデジタルワークフローの落とし穴と将来展望」「インプラント体と上部構造のジョイントを多角的に検討する」「インプラントと残存歯、義歯などとのコンビネーションによ

る機能回復を再考する」「CAD/CAM 上部構造におけるマテリアル選択について」の10テーマのシンポジウムを行います。

また、Back To The Basics では「長期経過後を見据えた歯科治療、次世代の歯科医に伝えたいこと、知って欲しいこと」をテーマに5名のエキスパートによる講演を予定しています。さらにデンタルスタッフを対象とした「専門歯科技工士教育講座」や「専門歯科衛生士教育講座」をはじめ多くの魅力あるセミナーや講演を企画しています。大会ホームページ\*に予定プログラムと最新情報を掲載していますので、ぜひアクセスをお願いします。

本学術大会への参加申し込み(事前登録)は8月31日(火)を締め切りとして、第51回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会ホームページ\*にて受付を行っています。多くの会員の皆様のお申し込みをお待ちしておりますので、ぜひよろしくお願い申し上げます。日本晴れの広島で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

末筆ながら、皆様のご無事とご健康をお祈り申し上げます。

\*第51回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会ホームページ

<https://www.kntcs.co.jp/ec/2021/jsoi/>

# 第51回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 (第41回中国・四国支部学術大会併催)

## メインテーマ：インプラント治療 これまでの50年, これからの50年 —インプラントで支える未来の健康—

10月22日(金)・10月23日(土)・10月24日(日)

会 場：広島国際会議場(〒730-0811 広島市中区中島町1-5 TEL:082-242-7777)  
 広島市文化交流会館(〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL:082-243-8881)  
 JMSアステールプラザ(〒730-0812 広島市中区加古町4-17 TEL:082-244-8000)

大 会 長：津賀 一弘(広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室)  
 副 大 会 長：武知 正晃(広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学)  
 実行委員長：久保 隆靖(広島大学病院口腔インプラント診療科)

### ■主要プログラム

22日 (金)	午後	<b>■倫理セミナー</b> 「未定」 谷城博幸, 廣瀬英一	<b>■専門医教育講座</b> 「保険適用のインプラント治療」 武知正晃
	午前	<b>■シンポジウム1</b> 「基礎から学ぶインプラント周囲軟組織最新知見」 熱田 生, 柴田 陽, 吉村篤利	<b>■シンポジウム2</b> 「長期症例を通じた患者の一生を見つめるインプラント治療」 椎貝達夫, 塩田 真, 樋口大輔
		<b>■シンポジウム3</b> 「インプラント周囲炎の治療を考える—患者にとって最適な方法とは?—」 辰巳順一, 中居伸行, 佐藤琢也	<b>■シンポジウム4</b> 「新型コロナウイルス感染症流行下の院内感染対策」 今宮圭太, 馬場一美, 岸本裕充
ランチョンセミナー			
23日 (土)	午後	<b>■ Back To The Basics</b> 「長期経過後を見据えた歯科治療, 次世代の歯科医に伝えたいこと, 知って欲しいこと」 信藤孝博, 飯田正人, 朝比奈 泉, 田中秀樹, 十河厚志	<b>■シンポジウム5</b> 「広範囲顎骨支持型装置について現在の知見を得る」 立川敬子, 堀田 聡, 小椋正之
		<b>■シンポジウム6</b> 「各種造成手術における既承認骨補填材を評価する」 高橋 哲, 松野智宣, 宮本洋二	<b>■シンポジウム7</b> 「医療デジタルデータおよびインプラントシミュレーションの正しい取り扱いとデジタルワークフローの落とし穴と将来展望」 森本泰宏, 小室 暁, 梅原一浩
イブニングセッション			
会員情報交換会			

会員情報交換会が10月23日(土)の19:00(予定)より, 会場に至近のANAクラウンプラザホテル広島にて開催される予定です。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

※会員情報交換会は学会の会員懇親会と兼ねております。参加人数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。

		モーニングセッション	
24日 (日)	午前	<b>■特別シンポジウム</b> 「口腔機能回復から全身の健康へ 4学会の連携と目指す方向性」 宮崎 隆, 桐田忠昭, 馬場一美, 小方頼昌	<b>■特別講演 1</b> 「インプラント治療の症型分類」 阪本貴司, 鮎川保則
		<b>■専門歯科技工士委員会セミナー</b> 「デジタル技術を応用したインプラント治療・技工」 植松厚夫, 藤松 剛	<b>■専門歯科技工士教育講座</b> 「未定」 税所秀揮
		<b>■シンポジウム 8</b> 「インプラント体と上部構造のジョイントを多角的に検討する」 細川隆司, 澤瀬 隆, 小宮山彌太郎	<b>■シンポジウム 9</b> 「インプラントと残存歯, 義歯などのコンビネーションによる機能回復を再考する」 松下恭之, 大久保力廣, 関根秀志
		<b>■専門歯科衛生士委員会セミナー</b> 「未定」 近藤尚知	<b>■専門歯科衛生士教育講座</b> 「歯科衛生士のためのインプラント周囲疾患のメカニズムと対処法」 佐藤 聡
		ランチョンセミナー	
午後	<b>■特別講演 2</b> 「審美領域へのインプラント治療の成功基準」 日高豊彦, 中野 環, 佐々木 猛	<b>■認定・試験・編集委員会セミナー</b> 「未定」 三上 格, 大久保力廣, 宗像源博	
	<b>■シンポジウム 10</b> 「CAD/CAM 上部構造におけるマテリアル選択について」 土屋嘉都彦, 大森有樹, 伴 清治	<b>■市民公開講座</b> 「インプラント治療を安心して受けるために (仮題)」 武知正晃, 藤原康則	

## 大会参加登録

会員区分		事前参加費(税込) (8/31(火)まで)	当日参加費(税込)
正会員	歯科医師・一般	16,000円	21,000円
	歯科技工士・歯科衛生士	8,000円	10,000円
非会員	歯科医師・一般	21,000円	27,000円
外国人会員		8,000円	10,000円
準会員 非会員	歯科技工士・歯科衛生士	10,000円	11,000円
	コメディカルスタッフ・コメディカルスタッフ	8,000円	10,000円
	学生(大学院生を含まず), 各種専門学校生, 留学生	4,000円	4,000円
会員情報交換会		11,000円	13,000円

※コメディカルスタッフは、保健師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、栄養士、柔道整復師、訪問介護員、介護支援専門員などの医療連携者です。

■大会事務局 広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室

■運営事務局 株式会社近畿日本ツーリスト中国四国 広島支店

〒730-0032 広島市中区立町1-24 TEL: 082-502-0909 FAX: 082-221-7039

E-mail: jsoi51th@or.kntcs.co.jp

## 令和2年度研修施設長名変更一覧

- ・(旧) 奥羽大学歯学部附属病院口腔インプラント科 関根 秀志  
⇒(新) 奥羽大学歯学部附属病院口腔インプラント科 山森 徹雄
- ・(旧) 埼玉医科大学総合医療センター歯科口腔外科 下山 哲夫  
⇒(新) 埼玉医科大学総合医療センター歯科口腔外科 金子 貴広

## 令和2年度研修施設名変更一覧

- ・(旧) 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部  
⇒(新) 新潟大学医歯学総合病院顎口腔インプラント治療部

## 令和2年度新規研修施設一覧

- ・東京大学医学部附属病院 施設長 星 和人  
所在地：〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1  
TEL：03-5800-8669
- ・奈良県立医科大学附属病院 施設長 桐田 忠昭  
所在地：〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地  
TEL：0744-22-3051

## 令和2年度専修医合格者

### ▼東北・北海道支部

菅野岳志, 齋藤紘子, 船川竜生

### ▼関東・甲信越支部

赤松哲次, 阿久津 功, 安達詠子, 荒川勇斗  
 飯田このみ, 飯塚勇太, 伊藤準之助, 井ノ上靖尊  
 大石功貴, 大森裕斗, 大寄登隆, 尾上 剛  
 片山慶祐, 片山翔一, 川崎雄一, 川島大輝  
 川谷孝士, 久野貴史, 栗原慎幸, 合田秀一  
 小高至彦, 小林孝誌, 小林 諒, 穴戸孝太郎  
 島田惇平, 清水太郎, 高橋佑次, 田子内道徹  
 田中 全, 富本洋太郎, 友田真紀, 長澤麻沙子  
 中島孝輔, 中島幹夫, 中村哲朗, 生井友農  
 羽毛田 匡, 濱岡 玄, 林 泰生, 檜山成寿  
 平野信実, 北條 泰, 植坪孔明, 松永和幸  
 三壁信洋, 宮坂宗充, 宮崎さゆり, 森 こず恵  
 山本麻衣子, 吉田 誠

### ▼中部支部

池田憲吾, 石原大輔, 稲吉孝介, 岩泉宏和

久保宗平, 後藤光三, 多田祐介, 吉岡登史彰

### ▼近畿・北陸支部

石原健人, 上田美帆, 氏井公治, 太原秀夫  
 春日井仁丸, 栗田英昭, 小林友幸, 小山直浩  
 下元拓哉, 玉岡文二, 中川敬史, 藤田祐也  
 宮内雄平, 山脇敏裕

### ▼中国・四国支部

市原雅也, 尾崎忠克, 河村道彦, 妹尾宗一郎  
 中川晋輔, 永山晃之, 前川賢治, 松江正芳  
 藪 健一郎, 吉岡裕也

### ▼九州支部

赤崎文平, 香月俊彦, 佐藤絢子, 島田 昂  
 高橋佳子, 土橋佑基, 西田耕也, 野田一樹  
 葉山揚介, 松本彩子, 宮口直之, 矢野良佳  
 矢部陽典

(以上 98 名)

# 第41回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会報告

教育・研修委員会 委員長 近藤 尚知  
副委員長 阿部 伸一

2021年3月21日(日)、第41回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会が開催されました。本講習会は本来、東京歯科大学の血協ホールで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況が収束せず、オンラインによるWEB開催という形を取りました。配信方法は、Webinar機能による配信としました。今回は、日本口腔インプラント学会の事務局を講演の配信拠点とし、一部の配信を演者の先生が所属する大学からという二元配信で行い、受講者の対応については学会事務局と教育・研修委員会のメンバーで担いました。

本年度の講習会のメインテーマは「口腔インプラント専門医がこれから解決していかなければならない課題」で、本講習会のサブテーマは「安全確実に最新治療を行うために」とし、6名の講師の先生方にご講演いただきました。まず開講式を行い、公益社団法人日本口腔インプラント学会理事長の宮崎 隆先生および専務理事の築瀬武史先生より、ご挨拶がありました。その後、教育・研修委員会委員長である近藤が受講に関する諸注意の説明を行い、講師の先生方の講演へと進みました。

事務局からのリモートで、教育・研修委員会委員である昭和大学歯学部インプラント歯科学講座の佐藤大輔先生に座長を務めていただき講演が開始されました。講演は、愛知学院大学歯学部有床義歯学講座の尾澤昌悟先生より「インプラントの上部構造に与える咬合の基本」と題して、インプラントの咬合に関する基本的な概念と臨床の実際についてお話しいただきました。続いて、東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座の関根秀志先生に「天然歯・インプラントの咬合に関わる基礎科学」と題して、特に天然歯とインプラントの圧感覚閾値や、咬合による硬さや厚みの識別能力、およびインプラントの咬合についてお話しいただきました。そして午前の最後に、教育・研修委員会の副委員長である阿部伸一(東京歯科大学解剖学講座)より「咬合を考える上で知っておきたい顎関節の機能解剖」と題して、主に未固定の献体を用いた動画で、顎関節部の筋部・関節円板・結合組織部の動きの協調性について解説させていただきました。

午後の部は、教育・研修委員会委員長である近藤尚知(岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座)が座長を務めさせていただき、講演が開始されました。はじめに東京歯科大学口腔インプラント学講座の臨床



第41回講習会 講師・役員・スタッフ一同



二元配信による講習会の様子

准教授である木津康博先生より「ガイドドサージェリーの臨床的有用性」と題して、合併症を回避する目的で術前に3D検査とインプラント埋入シミュレーションを行うことの重要性をお話しいただきました。次に東京歯科大学解剖学講座の山本将仁先生に「下顎舌側部のピットホール：注意すべき血管走行のバリエーション」と題して、下顎舌側部粘膜下の解剖学的構造と脈管形態のバリエーションについてお話しいただきました。午後の最後に、Tulane University 医学部の岩永 譲先生に「インプラント関連手術のトレーニングおよび解剖の3次元的理解に有用なフレッシュカダバー実習」と題し、未固定の献体標本を用いることによって理解が深まる粘膜・動静脈・神経の解剖についてお話しいただきました。

各講師の先生方への質疑応答は「Q&A」機能は使用せず、チャットにすべて入れていただき、座長が整理して演者と質疑する形態を取りました。特に午後の3つの演題に関しては、3人の演者の先生の話がすべて終了した後にパネルディスカッションという形式で、座長を入れた4人が画面に映り議論を進めました。聴講生のアンケートからは、この形式におおむね良好な



WEB 配信中の様子 (事務局) その 1



WEB 配信中の様子 (事務局) その 2

評価でしたが、議論の時間が少ないという意見も数名からございました。そして修了証の発行は、最後のアンケートに回答していただくことを条件とし、アンケート内に入れる Key Word を「解剖」として案内(午前副委員長である阿部より、午後委員長である近藤より)しました。講演終了後の修了式に先立ち、学会資格総括理事の細川隆司先生より本講習会の総括についてご挨拶いただき、続く修了式では、教育・研修委員会副委員長の阿部より受講者へ修了証が郵送で授与される旨を説明し、第 41 回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会は閉会しました。

本講習会は、当初対面形式で 200 名程度を想定しておりました。しかしオンライン開催ということもあ

り反響が大きく、550 名を超える受講者数となりました。また、オンライン講習会時の接続について心配されている先生のため、事前接続テストを行いました。これらの結果はアンケート調査にも示され、参加してよかったが 99%、講演内容については「大変良い」が 73%、「良い」が 27%と、これら 2 項目で 100% を占めました。また再度参加したいとの回答が 100% であったため、今後のオンライン形式での講習会への期待も含めて成功裏に終わられたのではないかと安堵しているところです。今後も口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会へのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 関東・甲信越支部第11回学術シンポジウム開催報告

大会長 小倉 晋

2021 年 5 月 30 日(日)、関東・甲信越支部第 11 回学術シンポジウムが開催されました。本学術シンポジウムは 2010 年に始まり、第 3 回からは当時支部長を務められていた相浦洲吉先生のご発案により、若い先生に着目したシンポジウムが開催され好評を博して以来、次世代を担う若手研究者・臨床家の活躍の場として定着しました。今回の開催にあたり支部学術委員会で協議した結果、学術大会や支部学術大会における学術賞受賞者の講演を改めて拝聴したいという意見が挙がりました。そこで、新型コロナウイルス感染症の影響で学会参加経験のない新人歯科医師にも参集いただくため、今回は原点に戻るという意味も含め、メインテーマを「今だからこそベーシック」とし、6 名のシンポジストと特別講演として 2 名の先生にご講演いただきました。

講演に先立ち築瀬武史関東・甲信越支部長、宮崎



小倉大会長、築瀬関東・甲信越支部長、宮崎理事長の挨拶

隆理事長からご挨拶があり開会しました。午前のセッションでは日本歯科大学新潟病院口腔インプラント科川谷孝士先生が「医療用画像 3 次元化ソフトウェアを

用いた上顎洞底挙上術後の骨補填材の経時的変化の測定について」、東京歯科大学口腔インプラント学講座 古川丈博先生が「ショートインプラントにおける臨床実績」、昭和大学歯学部インプラント歯科学講座 上杉崇史先生が「部分欠損症例での意図的傾斜埋入におけるガイドドサージェリーの有用性」と題してそれぞれ講演を行いました。その後、講演中にチャット機能で参加者から寄せられた質疑を基にディスカッションが行われました。続いて東京歯科大学解剖学講座 阿部伸一先生から「インプラント治療における解剖学」と題してたいへん貴重な動画を交えて特別講演をいただきました。午後の部では日本歯科大学附属病院口腔外科 小林隆太郎先生から「COVID-19 に対する歯科の取り組み」と題して、日本歯科医学会連合新型コロナウイルス感染症対策チーム長の立場から歯科の取り組みを詳細に講演いただきました。後半のセッションでは日本歯科先端技術研究所 柴垣博一先生が「インプラント埋入時の ISQ(Implant Stability Quotient) とトルク値の相関を検証する」、東京医科歯科大学大学院

医歯学総合研究科高齢者歯科学分野 上原容子先生が「下顎シングルインプラントオーバーデンチャーの患者報告アウトカムと食品摂取」、東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学 大原誠司先生が「インプラント破折に関する臨床学的検討」と題してそれぞれ講演を行い、午前の部同様ディスカッションが行われました。

すべての講演は事前に収録していただいたものであったこともあり、全体的にスムーズな進行で行うことができました。事前登録者は 396 名で最大瞬間参加者は約 240 名でした。大きな通信トラブルもなく閉会しました。これらは、会員にとってオンライン講習会がこの 1 年間で良くも悪くも身近なものになった証だと思われます。演者の先生におかれましては、従来の開催とは異なる形式にもかかわらずご講演をご快諾いただきましたこと、心より感謝申し上げます。まだまだ終息がみえない状況ではありますが、今回のシンポジウムが最初で最後の WEB 開催となるよう切に思います。最後に、開催に際しご協力いただきました関係各位ならびに企業様に心より感謝申し上げます。



午前のシンポジスト



午後のシンポジスト

## 研修施設紹介

### 京都大学医学部附属病院

#### 歯科口腔外科

施設長 別所 和久

京都大学医学部に口腔外科学講座が開設されたのは 1950 年初めであり、京大病院での診療科設置は 1944 年と 80 年近く前のこととなります。初代美濃口教授時代には研究設備が乏しかったにもかかわらず、京都大学口腔科学紀要を単独の科で発行し、歯

科学・口腔科学・口腔外科学に及ぶ研究を行いました。2 代目小野教授時代には大学紛争後、荒廃した研究室を再建、研究を発展させ、医用材料学講座（後の再生医科学研究所）の新設に注力するとともに、講座の英文名称を「Stomatology」から「Oral and Maxillofacial Surgery」に変更し、臨床と研究の方向性を口腔顎顔面外科に関するものへの指針も示しています。3 代目飯塚教授時代には口腔外科学講座を口腔と顎の機能、それにかかわる病態を基礎的に研究し、外科的に治療を行うための講座と考え、

基礎、臨床医学に加えて工学的手法による幅広い分野を対象としていました。4代目教授として別所が16年前に就任してからは、「歯の再生と口腔顎顔面疾患の分子生物学的研究」「種々のペクターを用いた骨形成因子 (BMP) 遺伝子導入による骨形成に関する基礎的研究」「再生歯科ならびに顎顔面再建のためのインプラントに関する基礎的臨床的研究」「顎関節、口腔癌、顎変形症の基礎的臨床的研究」「骨吸収抑制薬関連顎骨壊死・骨髄炎に関する基礎的臨床的研究」「周術期口腔機能管理・オーラルケアに関する基礎的臨床的研究」などを基礎医学講座や工学部などに頼ることなく、独自もしくは国内外共同研究として展開し、現在の医学部・医学部附属病院で口腔外科に必要とされるすべての広い領域を対象としています。

このような当口腔外科学講座の変遷のなかで、口腔インプラントを手がけ始めたのは、国内でチタン製インプラント材料のオッセオインテグレーションという概念が広まり始めた後、比較的早く、研究では1986年、臨床では日本初のインプラントセンターが大阪に開設された1988年になります。口腔インプラントの京大病院での高度先進医療導入も比較的早い1993年であり、その後、先進医療の保険導入として広範囲顎骨支持型装置・補綴が保険適用された2012年には適応を満たす施設として認められています。学術大会も第5回日本顎顔面インプラント学会総会学術大会を2001年に、本学会の第34回近畿・北陸支部学術大会を2015年に開催する手伝いをさせていただいております。この近畿・北陸支部学術大会は、一丸となった京都府内本学会会員のご協力により、3特別講演、メインシンポジウム、シンポジウム、ステップアップセミナーと、多くのランチョンセミナー、協賛セミナーおよび各教育講座などの準備させていただいたプログラム以外に、全国から82演題1,100名を超えるご発表ご参加を得ることができ、市民講座にも400名を超える一般参加者を集める規模の学術大会にすることができました(写真1)。

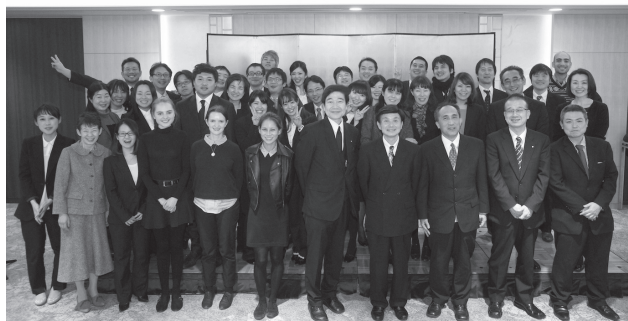


写真1 第34回近畿・北陸支部学術大会スタッフ反省会

もちろん、研究・臨床における当口腔外科全体のなかでの口腔インプラントの占める割合は一部といわざるをえません。これについては、当科所属73名中、日本口腔インプラント学会会員がわずか23名と30%程度しか入会していないことから明らかです。しかしながら、臨床治療実績として口腔外科全体の年間手術数が1,500症例あまりであるなか、口腔インプラント埋入手術が100症例程度200～300本とここ数年は安定しており、当科治療手技の一つとして確立でき、外来においても専門外来を設け毎週稼働するにはいたっております。

当科ではすべての歯科口腔外科疾患を対象に幅広い診療を行っており、かつ京大病院における診療科としての特性を活かした医科歯科連携・病病連携・病診連携の診療を行っております。口腔外科手術に限定せず、重篤な他科疾患を有する患者への歯科治療、移植医療を含めた周術期等口腔衛生・機能管理、隣接診療科との連携診療に加え、組織再生インプラント外来をはじめ9専門外来を開設しています。このことから、歯科衛生士・歯科技工士の必要度は年々増し、現在おのおの8名・3名が当科で高度な治療を行うための一翼を担ってくれています。このような幅広い診療、高次診療を行うため、臨床・研究に加え医学的視野に立った国内外の歯科医師研修・教育にも力を注いでおり、南米、中近東、アジア、アフリカ圏からのみならず、ドイツやオーストラリアなどからの医師・歯科医師・歯学部学生も受け入れています(写真2)。当科の臨床・研究・教育に興味をおもちでしたら、研修医のみならず、すでに臨床経験を有する先生の入局も歓迎いたしております。今後も本学会研修施設の一つとして、より一層の努力を続ける所存でございますので、最後になりましたが皆様さらなるご指導ご鞭撻を深くお願いし、施設紹介とさせていただきたく存じます。



写真2 当科スタッフ



## 福岡歯科大学 口腔インプラントセンター

施設長 城戸 寛史

福岡歯科大学で独立したインプラントの診療科は1998年に「口腔インプラント科」として設置され、松浦正朗教授が専任教授として就任されました。その後、大学の大講座制への移行に伴い、咬合修復学講座口腔インプラント学分野となり、2000年10月1日に「口腔インプラントセンター」の施設名で日本口腔インプラント学会の認定研修施設として承認されました。福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野の松浦正朗教授が初代の施設長を務められ、2012年に現教授の城戸寛史が施設長を引き継ぎ、現在にいたっています。開設当初の構成員は常勤の医局員が6名程度でしたが、その後、常勤の医局員が他科を含めて30名程度になり、非常勤の研究生が約60～70名入局して、全体の構成人数は約100名となっています。その構成員には4名の指導医、30名以上の専門医が含まれます(写真1)。

本施設では、学部学生の口腔インプラント学の卒前教育を担当しており、4年生の15コマの講義と5年生の模型による埋入実習を行っています。学部学生の口腔インプラント学講義では、「口腔インプラント治療の説明ができる」ことを主な到達目標としており、埋入実習ではインプラント手術の基本的な手技について理解を深めることを目的としています。また、5年生の臨床実習では埋入手術や上部構造装着の臨床を見学することができます。さらに、学内外の卒業生や近隣の歯科医師を対象とした生涯研修として、インプラント初級講習会や中級講習会を定期的に開催しています。日本口腔インプラント学会の臨床系認定研修施設である「福岡口腔インプラント研究会(FIRA)」と連携し、教室員はFIRAの認定講習会に参加したり、定例の症例検討会を合同で開催したりしています。前述したように、福岡歯科大学口腔インプラント学分野では2003年より学部学生に卒前教育としてインプラントの埋入と印象採得の実習を行っており、入局した医局員は必ず学生教育のためのインストラクターになるための研修を受けます。また、週1回開かれるカンファレンスで埋入手術予定の患者の診断、治療方針および手術計画を担当医がプレゼンし、ディスカッションが行われます。

福岡歯科大学医科歯科総合病院は2020年9月に新病院が開院しました(写真2)。手術室にはビデオシステムとナビゲーションシステムを備えており、認定施設の基準を十分にクリアしています(写真3)。臨床

では2005年からガイドドサージェリーを導入し、ほぼ全症例で利用しています。また、新たに導入されたナビゲーションシステムは臨床に有効なツールであるだけでなく、教育研修面でも有用性が認められます。研究面ではジルコニアインプラントの開発、脂肪由来幹細胞による再生治療、AMPキナーゼ活性がオッセオインテグレーションに及ぼす影響、デジタルデバイスによる手術支援、インプラントの遠隔治療、訪問治療における光学印象の有効利用などに取り組んでおります。

今後も、日本口腔インプラント学会の認定研修施設として専門医や指導医の育成にあたり、安全で安心なインプラント治療の供給に努めていきます。



写真1 福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野スタッフ



写真2 2020年9月に開院した福岡歯科大学医科歯科総合病院



写真3 ビデオシステムやナビゲーションシステムを備えた手術室

# 新入会者紹介

(令和2年12月3日～令和3年5月20日)

## ▼東北・北海道支部

(北海道) 石山 司, 稲用昌之, 小野桃佳  
春日卓也, 黄 宗楷, 小西大輔, 小山美香子  
近藤孝哉, 佐々木翔太, 佐藤佑美, 先崎孝三郎  
高橋里奈, 武田晴奈, 谷 幸憲, 谷川紗也佳  
中仙道とし子, 西潟健太, 堀田聖果, 山口摂崇  
山下駿生, 和田香織  
(青森県) 甲地貴行, 久保田耕世, 荘 豪智  
山本裕香子  
(岩手県) 佐々木かおり, 高橋志歩  
(宮城県) 加藤秀紀, 菊田雅史, 鈴木充利  
山本祥子  
(山形県) 粕谷賢志  
(福島県) 鬼丸高友, 北島健一郎, 小玉直樹  
山川侑斗

## ▼関東・甲信越支部

(茨城県) 大場裕乃, 田口奈緒, 中田典光  
長谷川彩乃, 吉田清美  
(栃木県) 川田幸平, 黒川史央里, 福澤一宏  
村越李恵, 山岡真琴  
(群馬県) 小澤美百莉  
(埼玉県) 内輪真実, 梅田有由, 春日太一  
木村剛史, 小林春樹, 齋藤壮太, 島津政長  
鈴木宏忠, 関谷華穂, 徳田大二, 中川美希  
中込啓太, 野村知央, 巻 祐太, 安田 佑  
山中 遥, 與那覇裕基, 和田美里, 渡邊早絵  
(千葉県) 池畑元基, 石井真実, 石毛俊作  
今井童菜, 岩崎知美, 潮 美沙子, 宇留野央有克  
遠藤雅徳, 大塚洋平, 近藤若菜, 澁谷一貴  
勝 陽臣, 鈴木みなみ, 竹村美月, 田島英利佳  
辻 圭佑, 津谷允宏, 中平あすか, 根田 武  
能勢 明, 白 朱蓮, 橋爪はつき, 牧野将大  
松尾充洋, 南 亮佑, 山崎廉平, 和賀井 翔  
(東京都) 安達和可奈, 新井良太, 有輪七海  
安藤正敏, 池内 博, 井坂 文, 石井久賀  
泉 厚彦, 泉田弘太, 糸川拓臣, 今村健太郎

岩井健太, 大坂美由紀, 大澤昂史, 大田雅樹  
太田理紗, 大山貴司, 岡田千のぶ, 小倉基寛  
片野雄太郎, 嘉悦由佳, 加藤しおり, 金子彰江  
金子和幸, 川島絵美, 川田恭平, 神田雄平  
木下慶彦, 木村りょう, 京極 崇, 窪内友哉  
黒澤奈保子, 小池 亮, 輿石悠介, 後藤晶子  
小西李奈, 小林恵実, 古宮宏記, 齋藤佳奈美  
酒井徹太郎, 坂下遥菜, 櫻井保慶, 佐藤慎二郎  
佐藤太郎, 佐藤豊彦, 志賀秀樹, 柴田翔吾  
瀬田修平, 相馬成葉, 田上理沙子, 高嶋直道  
竹中真弓子, 丹澤 彩, 出井鮎美, 遠山康之輔  
遠山敏成, 富樫侑也, 中島亮太, 永田翔大  
永田 希, 永田有里, 中西康典, 西田滉太郎  
西村将輝, 西村真美, 長谷川友美, 華岡健人  
浜本優太, 比嘉隼斗, 平野瑞穂, 福田 初  
細谷悠貴, 堀越大地, 堀澤亮輔, 正岡 直  
松山萌美, 見明康雄, 三瀬太記, 三留康司  
三宅雅之, 宮原慎太郎, 村上 学, 矢木鴻太郎  
安田隆臣, 柳岡 諒, 山浦大宜, 山縣加夏子  
山崎新太郎, 山根未空, 吉沼隆人, 和久田 滯  
渡邊 惇  
(神奈川県) 李 建五, 飯塚美佳, 宇治野 聖  
遠藤隆介, 奥田 光, 勝沼昌太郎, 菊池佳緒里  
黒岩志津, 洪 京美, 嶋田秀芳, 田口茉莉絵  
角田通則, 平松孝夫, 平山拓実, 福村 剛  
藤下美和, 藤本徹生, 間中道郎, 宮下洋輔  
村木健吾, 山田栄作, 吉澤瑞真  
(新潟県) 安部美南, 荒川いつか, 今井有蔵  
小田明穂, 小出 耀, 小千田明子, 後藤沙織  
近田由希, 坂上妙子, 鈴木理恵, 反町友絵  
高田 翔, 橋爪美香, 山本雅春  
(山梨県) 白石茂人  
(長野県) 近藤英司, 酒井文恵, 鈴木友香  
徳田功至, 箱山友祐, 松村直樹, 湯本恵理

## ▼中部支部

(岐阜県) 江川七海, 金光泰典, 砂川雄貴

松尾実乃里, 山田雄己  
 (静岡県) 佐々木千晴, 柴崎翔太, 白井貴子  
 瀧上 裕, 長野由季, 榎田直哉  
 (愛知県) 伊藤貴志, 江幡 凌, 國井綜志  
 佐々木 豪, 佐藤しおり, 鈴木優花, 田中泉帆  
 月星光博, 錦見尚暁, 野村幸乃, 星野正樹  
 松岡美月, 山口元一, 吉廻 慎, 吉澤 翼  
 脇田修人  
 (三重県) 鈴山裕之

## ▼近畿・北陸支部

(石川県) 北野智久  
 (滋賀県) 今井宏美, 北村佳也, 鳴神伊織  
 前田貴世, 村井崇人  
 (京都府) 飯田正人, 金子真弓, 神田智子  
 久保明加, 執行勇氣, 城下隆一  
 (大阪府) 明間すずな, 浅野晃久, 麻生朝香  
 足立れお, 新井由起子, 泉井 暁, 井谷あゆみ  
 井上華子, 今井基博, 今村ちひろ, 王 欣  
 大杉泰敏, 小谷洋平, 勝部 文, 金海 哲  
 金子尚樹, 川阪菜緒, 祁 業鈞, 桐林理恵  
 國嶋愛美, 西條 翔, 下村愛子, 瀬尾仁志  
 田中康太郎, 團 祐介, 永谷俊介, 中野誠貴  
 中村唯浩, 中山明子, 長谷川大輔, 伴 晋太郎  
 福田善彦, 馬 琳, 矢田堅巳, 山田哲也  
 渡部美咲希  
 (兵庫県) 池田千賀子, 岩本浩樹, 奥田浩規  
 富本康平, 野阪ひとみ, 林 莉菜, 平石彩乃  
 馬庭 望, 丸山達也, 宮本浩気  
 (奈良県) 今田光彦, 中上佳寿彦, 西田美郷  
 吉岡香奈子

## ▼中国・四国支部

(岡山県) 河田祥一, 松永直也  
 (広島県) 内木孝典, 住元泰介, 平 有希  
 中田 穰, 森本康裕, 山本哲史  
 (山口県) 門脇加奈  
 (徳島県) 栗尾奈愛  
 (香川県) 河瀬久美子  
 (愛媛県) 薦田祥博

(高知県) 野々宮美咲, 溝淵隆宏

## ▼九州支部

(福岡県) 上田愛佳, 大澤賢次, 加来伸哉  
 可徳史博, 久保慶朗, 小林弥幸, 齊藤明子  
 佐々木義郎, 柴村勇樹, 新藤美湖, 神野幸恵  
 田代 宗, 鎮守 晃, 中原優衣, 成富正和  
 納富彰人, 野田沙友理, 細川知隆, 眞鍋佳菜子  
 宮崎秀人, 餅田健一, 山口 義  
 (佐賀県) 岩永 譲, 岡 大和, 宮崎祥徳  
 (長崎県) 竹尾恭子, 濱田雄太  
 (熊本県) 秋吉愛花, 石川 卓, 小久保星菜  
 堀 智尋, 前田耕陽, 吉永恵理佳  
 (大分県) 望月敬太  
 (宮崎県) 市来 剛  
 (沖縄県) 宮本英欧


(以上 369 名)

### 広報委員会からのお知らせ

昨年度に引き続き加来敏男が委員長を務めます。  
 広報委員会のメンバーは以下の通りです。  
 委員長：加来敏男 副委員長：友竹偉則  
 委員：小林真理子, 添島義樹, 十河基文,  
 内藤宗孝, 村井健二

広報委員会はニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致します。引き続き、広告可能な専門医取得に向けて広報の立場からサポートしていく所存です。ご意見、ご要望等ございましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

〒871-0057 大分県中津市三ノ丁1278-3  
 医療法人加来歯科 加来敏男  
 電話：0979-22-0708  
 ファックス：0979-22-1688  
 メールアドレス：info@kakudental.com

インプラント学会 検索 

## 目次

第51回学術大会開催の挨拶	1
第51回学術大会プログラム	2, 3
令和2年度研修施設長名変更	4
令和2年度研修施設名変更	4
令和2年度新規研修施設	4
令和2年度専修医合格者	4
第41回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会報告	5, 6
関東・甲信越支部第11回学術シンポジウム開催報告	6, 7
研修施設紹介	
京都大学医学部附属病院歯科口腔外科	7, 8
福岡歯科大学口腔インプラントセンター	9
新入会者紹介(令和2年12月3日~令和3年5月20日)	10, 11
広報委員会からのお知らせ	11
広告	12
目次	12

Thinking ahead. Focused on life.



# Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80μmのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。



発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06. 6380 2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03. 3834 6161  
 お問合せ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール) 製造販売: 製造 株式会社 モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075. 611 2141  
 販売名: ベラビュー X800 標準価格: 9,600,000円~(消費税別途) 2019年8月21日現在 一般的名称: デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置  
 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 228ACBZX00008000  
 詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 [http://www.dental-plaza.com/article/veraview\\_x800](http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800)